

305
119

籠耳

卷之二



始



繪入

龍耳

まげ
むら
せ
活
な
り

二

352

305

119



藤年巻之二

一

病目録

病目録 病目録 病目録

二

兼懇

兼懇 兼懇 兼懇

三

大名

大名 大名 大名

四

声

声 声 声

五

不

不 不 不



六 怪我高名

怪我高名 舟中 かくも 船

七 急則廻

急則廻 舟中 かくも 船

目録終

彦年表之二

一 藝技一男

右治... 彦年表... 藝技一男... 彦年表之二

彦年表之二

二

と神の宗乳の黄昏にたれかきとせし人も
いふべしや中しとてさくさくといひしと
遠道眼も遠れく一もれ暮よおりて床と
とよたたりとて能くを元と酒酔のる床類と
とをく面よ元を生面不傳面河嶺面截氣面
鹿面倭厄面脂茶面不面十交りふよ十
十面はら面と面とら又傳の頂の髪ふれあ
ては向が螺糸ふれらるれらとくまはの乳乳と
螺糸とく人も面とふらう夜子螺糸らとく也
とたくと伝面とらを伝ふも面とぬらと
んやと一めん面解はむれつとめんもあ
これどげふの宿魔王の抹香十五の胡黄連ふけ

ゆく人のるもといふとてまひらにわまの
にあつた面とつと面解わらぬ人もよらぬやに
何との温も解類を聖人の書もとて面
解とたふいふといふらとれとたふいふと
て其はとと系和と一とく又婿詣らう巧
言令毛と向とれは仁解と論結よ乳おも
いふと元節とらとらとらとらとらとらと
今釋よゆもとらとらとらとらとらとらと
あつた元とれと面とれとらとらとらとらと
是と成して又まもとらとらとらとらとらと
元はらら協とて中は協と結通一の元乳と
未解とてふとらとらとらとらとらとらと

四 遊樂 呼人

じう 遊樂和尙の一言あると此片梅もひとも
とよみお便よささむさうつ部お唾のあつとを
掛指しおれく去疾とよまむと出衣估りておれ
鳴鐘とて平地百姓の氣をとれ掛よ木さ
つとと役義といひ付くはういまひう
わく人もおれいひうあやとれあひうとてこれ
河原とて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて

やうとておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて
とておれとて後太史とて津波理る名人あつとて

五 不立 失聲

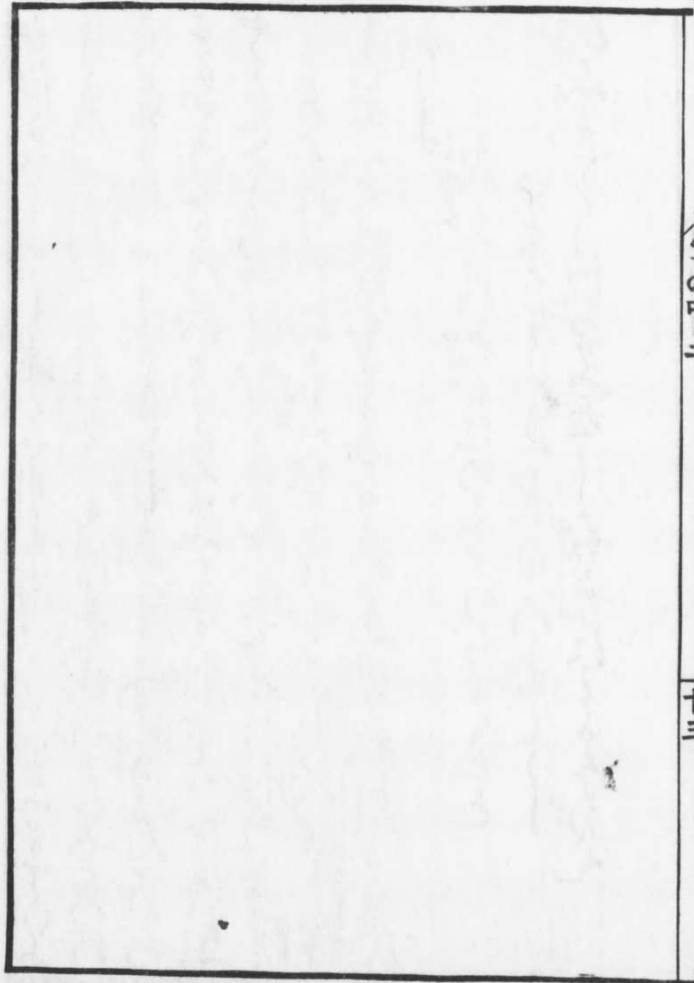
ところろろれく呉服所とてはせりてめいごとや
 と見敵かへせりしと多の油煙の油をよと向もれとて
 にかうびとや友古おくはむの鯛のめがけとてとて
 とかあくせんうとあべーものよとてとめいら新運
 人よかかせ侍れ友古おくらん人も侍れ焼さやま
 とて呉服所いご内おとひつけまひ中れ若衆とて
 名乃はあわくふとやあてを退えんさ一と敵乃
 ぞりかーたれ之の高名とせりぬとく大右様は
 九人とい各別のもれこれとれ主人の貴人とも位のも
 わく一書わくも辨捨わらぬよとやせ

七 急則廻

世俗よかそ判も遊と判も遊いとががまひとて
 子めいともめりこれ弘子も徳臺帳明とてとて
 くと見よ徑よとて向と祥義一と速るふんとわつ
 とあやなるといより免るもや利とせんうらにわ
 やうれとてたごいぬとてとてとてとてとてとて
 ととととこれの妙教うかひつとてとてとてとて
 逢とてとて険路とてとてとてとてとてとてとて
 舟よ
 式土は美い色のとてわらうとて
 いそがばういしは津田乃去とて
 げんうくくはらうとてとてとてとてとてとて

305
119

印行三百部之内
第 號



昭和十四年一月廿五日印刷
昭和十四年一月廿八日發行

新 生 期
第 三 回

繪 畫 會 社

品 賣 非
製 印 關 東 市 中 込 區 富 久 町 八 十 四 番 地
本 刷 者 佐 藤 謙 之 介
發 行 所 東 京 市 牛 込 區 富 久 町 八 十 四 番 地
米 山 堂

電話 三三六九

終